

**製品名: ANG I ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06884**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	17kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ANG
別名	ANG; RNASE5; Angiogenin; Ribonuclease 5; RNase 5
遺伝子 ID	283.0
SwissProt ID	P03950
免疫原	抗血清は、ヒト N 末端 ANG の N 末端領域から誘導された合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

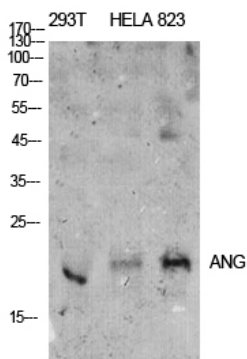
**背景**

アンジオジェニン(ANG) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、新生血管形成の非常に強力なメディエー

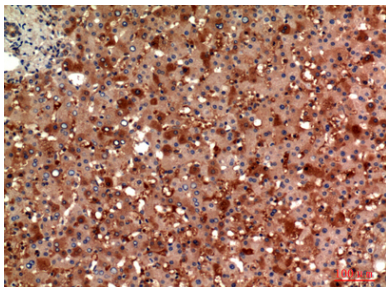
ターです。細胞の tRNA を加水分解し、タンパク質合成を減少させます。隣リボヌクレアーゼに類似しています。さらに、成熟ペプチドは、*S. pneumoniae* や *C. albicans* を含む一部の細菌や真菌に対して抗菌活性を示します。選択的スプライシングの結果、同じタンパク質をコードする2つの転写バリエーションが生成されます。この遺伝子と、RNase Aファミリーの4つのリボヌクレアーゼをコードする遺伝子は、プロモーターと5'エクソンを共有しています。各遺伝子は、その完全なコード領域を含む固有の下流エクソンにスプライシングされます。[RefSeq 提供、2014年8月];注意:Met-1 と Met-3 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。;発達段階:胎児の発達段階では発現レベルが低く、新生児で増加し、成人で最大になります。;疾患:ANG の欠陥は、筋萎縮性側索硬化症9型 (ALS9) [MIM:611895]の感受性の原因です。ALS は、皮質、脳幹、脊髄の運動ニューロンの変性疾患です。ALS は、筋力低下と萎縮が特徴です。;機能:内皮細胞表面のアクチンに結合する tRNA 特異的リボヌクレアーゼとして機能する可能性があります。結合すると、アンジオジェニン はエンドサイトーシスされて核に移行し、それによって血管形成に必要な内皮浸潤を促進します。アンジオジェニンは正常組織および悪性組織の血管新生を誘導する。細胞内 tRNA を特異的に加水分解することでタンパク質合成を阻害する。;オンライン情報: アンジオジェニン;類似性: 隣リボヌクレアーゼファミリーに属する。;組織特異性: 主に肝臓で発現する。また、内皮細胞および脊髄ニューロンでも検出される。;

## 研究分野

## 画像データ



ANG1 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞、Hela 細胞、823 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された